



# 第 52 回 愛媛形成外科研修会

## 抄 録 集

日 時 令和 6 年 6 月 22 日 (土) 17 時 00 分～

場 所 南松山病院 3 階 大会議室

愛媛県松山市朝生田町一丁目 3 番 10 号

TEL : 089-941-8255 (代)

当番世話人

南松山病院 形成外科 野澤 竜太

## 第 52 回 愛媛形成外科研修会

### 研修会について

1. 参加受付は、16 時 30 分より会場で行います。

2. 参加費として 2,000 円を受付にて申し受けます。

今回の特別講演は、日本形成外科学会の「領域講習」に認定されております。

「領域講習」として受講される専門医の方は受講料として 1,000 円を申し受けます。

3. 演者の方でまだ研修会会員でない先生は、入会の手続きをお取りください。

4. 一般演題での発表時間は、一題あたり 5 分と 3 分、質疑応答は 3 分を予定しています。

5. PC は Windows 11、PowerPoint を使用しての発表になります。なお、OS、バージョン等の影響で調整等が必要になる場合があります(当日は、USB メモリーあるいは PC 本体をお持ちください)。

6. 当日、駐車場をご利用の方は、お知らせください。

無料駐車券をお渡しいたします。

### 南松山病院への交通アクセス

#### ◆お車でお越しの場合



## 会 歴

会 期	世 話 人	会 場	日 時	参加者
第 1 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	松山成人病センター	平成 10 年 7 月 4 日	15 名
第 2 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県医師会研修所	平成 10 年 12 月 5 日	17 名
第 3 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	松山成人病センター	平成 11 年 6 月 19 日	20 名
第 4 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 11 年 11 月 27 日	19 名
第 5 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 12 年 6 月 24 日	17 名
第 6 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成 12 年 12 月 9 日	20 名
第 7 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 13 年 6 月 23 日	23 名
第 8 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 13 年 12 月 8 日	23 名
第 9 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成 14 年 6 月 8 日	27 名
第 10 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 14 年 12 月 14 日	27 名
第 11 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 15 年 6 月 28 日	25 名
第 12 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成 15 年 12 月 13 日	25 名
第 13 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 16 年 6 月 26 日	26 名
第 14 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 16 年 12 月 4 日	29 名
第 15 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 会議室	平成 17 年 6 月 18 日	31 名
第 16 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 会議室	平成 17 年 12 月 10 日	35 名
第 17 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 18 年 6 月 24 日	31 名
第 18 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成 18 年 12 月 9 日	26 名
第 19 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 19 年 6 月 16 日	37 名
第 20 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 19 年 12 月 15 日	30 名

会 期	世 話 人	会 場	日 時	参加者
第 21 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成 20 年 6 月 14 日	30 名
第 22 回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 20 年 12 月 6 日	30 名
第 23 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 21 年 6 月 27 日	32 名
第 24 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 21 年 12 月 12 日	28 名
第 25 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部皮膚科 形成外科診療班)	四国がんセンター 研修室	平成 22 年 6 月 19 日	34 名
第 26 回	田中 伸二 (石川病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 22 年 12 月 11 日	30 名
第 27 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 23 年 6 月 18 日	31 名
第 28 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	四国がんセンター 研修室	平成 23 年 11 月 26 日	25 名
第 29 回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	えひめ共済会館 4 階 末広	平成 24 年 6 月 23 日	34 名
第 30 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 24 年 12 月 1 日	26 名
第 31 回	田中 伸二 (HITO 病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 25 年 6 月 22 日	36 名
第 32 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	にぎたつ会館 2 階 楓の間	平成 25 年 11 月 30 日	30 名
第 33 回	安井 史明 (住友別子病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 26 年 6 月 21 日	32 名
第 34 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 新館カフアリス会議室	平成 26 年 11 月 29 日	32 名
第 35 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 27 年 6 月 27 日	36 名
第 36 回	田中 伸二 (HITO 病院 形成外科)	HITO 病院 3 階 大会議室	平成 27 年 11 月 21 日	27 名
第 37 回	手塚 敬 (松山市民病院 形成外科)	松山市民病院 2 階多目的ホール	平成 28 年 6 月 11 日	32 名
第 38 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	平成 28 年 12 月 10 日	30 名
第 39 回	小林 一夫 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 3 階中会議室①②	平成 29 年 6 月 24 日	36 名
第 40 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	四国がんセンター 本館 3 階研修室	平成 29 年 12 月 9 日	32 名

会期	世話人	会場	日時	参加者
第 41 回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	松山赤十字病院 4 階多目的ホール	平成 30 年 6 月 9 日	27 名
第 42 回	田中 伸二 (HITO 病院 形成外科)	HITO 病院 3 階 大会議室	平成 30 年 12 月 1 日	28 名
第 43 回	河村 進 (四国がんセンター 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	令和元年 6 月 22 日	31 名
第 44 回	中川 浩志 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 管理棟 1 階 講堂	令和元年 12 月 7 日	37 名
第 45 回	安井 史明 (住友別子病院 形成外科)	オンライン開催	令和 2 年 12 月 12 日	28 名
第 46 回	中岡 啓喜 (愛媛大学医学部附属病院 形成外科)	オンライン開催	令和 3 年 6 月 12 日	35 名
第 47 回	手塚 敬 (松山市民病院 形成外科)	松山市民病院 2 階 多目的ホール	令和 3 年 12 月 4 日	23 名
第 48 回	庄野 佳孝 (松山赤十字病院 形成外科)	松山赤十字病院 4 階多目的ホール	令和 4 年 6 月 4 日	32 名
第 49 回	田中 伸二 (HITO 病院 形成外科)	四国がんセンター 新棟 3 階研修室	令和 4 年 11 月 19 日	31 名
第 50 回	山下 昌宏 (四国がんセンター 形成外科)	ANA クラウンプラザ ホテル松山	令和 5 年 6 月 10 日	30 名
第 51 回	中川 浩志 (愛媛県立中央病院 形成外科)	愛媛県立中央病院 管理棟 1 階 講堂	令和 5 年 11 月 25 日	24 名

## プ ロ グ ラ ム

### Section I (17:00~17:35)

座長: 済生会松山病院 形成外科 三宅 啓介 先生

1. ダーモスコピー検査が診断に有用だった基底細胞癌の一例 (5分)  
四国がんセンター 形成外科 土谷 光太 他
2. 再発を繰り返す左乳頭皮膚腫瘍(毛細血管拡張性肉芽腫等の疑い) (3分)  
HITO 病院 形成外科 山中 健生 他
3. 巻き爪マイスター®による治療経験 (3分)  
松山市民病院 形成外科 上村 由美子 他
4. Poor result になった先天性眼瞼下垂手術 (3分)  
松山市民病院 形成外科 手塚 敬 他
5. DIEP Flap による両側乳房再建について (5分)  
愛媛大学医学部附属病院 形成外科 泉本 真美子 他

### Section II (17:35~18:15)

座長: 松山市民病院 形成外科 手塚 敬 先生

6. 高度認知症を伴った熱傷の一例 (5分)  
愛媛大学医学部附属病院 形成外科 檜垣 ひろみ
7. 糖尿病性足潰瘍に対して EPIFIX を使用した1例 (5分)  
済生会松山病院 形成外科 三宅 啓介 他
8. 黒色壊死を付する潰瘍が多発したクリオフィブリノゲン血症の一例 (3分)  
市立宇和島病院 形成外科 浅野 遥奈 他
9. 臀部慢性膿皮症の切除後、rubber band tie-over 法を用い植皮術を行った症例 (5分)  
松山赤十字病院 形成外科 井上 拓人 他
10. 乳腺型筋線維芽細胞腫の1例 (5分)  
愛媛県立中央病院 形成外科 石野 憲太郎 他

休憩 (15分)

総会 (18:30~18:45)

### 特別講演 (18:45~19:45)

座長: 南松山病院 形成外科 中岡 啓喜 先生

「一般病院における慢性創傷の治療」

講師: 熊本赤十字病院 形成外科部長 黒川 正人 先生

共催: 松山形成外科医会 愛媛形成外科医会

Section I (17:00~17:35)

座長: 済生会松山病院 形成外科 三宅 啓介 先生

1. ダーモスコピー検査が診断に有用だった基底細胞癌の一例

四国がんセンター 形成外科

○土谷 光太、山下 昌宏

(5分)

症例は 70 代女性。右頬部に約 5mm 大の淡褐色の結節を認めた。ダーモスコピー検査にて基底細胞癌が疑われ、生検にて確定した一例を経験した。若干の文献的考察を加えて報告する。

2. 再発を繰り返す左乳頭皮膚腫瘍(毛細血管拡張性肉芽腫等の疑い)

HITO 病院 形成外科

○山中 健生、米田 武史、中西 秀樹

(3分)

20 代女性。左乳頭表面の易出血性の肉芽様の結節に対して、切除術を施行し、病理診断は毛細血管拡張性肉芽腫。術後1ヶ月程度で再発。初回手術から7ヶ月後に再手術を行い、病理診断は乳頭状汗腺腫。3ヶ月後に再発。今後の方針について悩んでいます。

3. 巻き爪マイスター®による治療経験

松山市民病院 形成外科

○上村 由美子、手塚 敬、川野 貴大

(3 分)

巻き爪に対する治療は、手術治療・矯正治療・保存的治療など多岐に渡る。当院では、2023 年 9 月より巻き爪マイスター®による矯正治療を導入し、治療を行っている。現在までに 11 人(男性 3 人、女性 8 人)に行った。年齢は 64~86 歳(平均年齢 74 歳)、15 趾(右 8 趾、左 7 趾)に施行し、リネイル®ゲル 10%併用は 8 趾であった。改善例もあるものの、満足度が得られず手術治療になったもの、適応外と思われる症例などもあり、報告する。

4. Poor result になった先天性眼瞼下垂手術

松山市民病院 形成外科

○手塚 敬、川野 貴大、上村 由美子

(3 分)

12 年前の経験。当時 57 歳男性。左側の開瞼障害で腸脛靭帯移植術を施行したが、術後半年で改善していなかった。修正を行い改善したが、初回手術における問題点はなんだったか？

## 5. DIEP Flap による両側乳房再建について

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○泉本 真美子、戸澤 麻美、檜垣 ひろみ、村上 達郎、森 秀樹

(5 分)

遺伝性乳がん卵巣がん症候群 (HBOC) に対するリスク低減手術が保険適応となってから 4 年がたち、今後両側乳房再建が増加すると思われる。当科でも両側 DIEP Flap による同時両側再建を施行したため報告する。

Section II (17:35~18:15)

座長:松山市民病院 形成外科 手塚 敬 先生

6. 高度認知症を伴った熱傷の一例

愛媛大学医学部附属病院 形成外科

○檜垣 ひろみ

(5 分)

84 歳男性、両下肢 10%熱傷。高度認知症のため精神科併設の当院に入院となった。入院翌日より活気が低下し、下血した。緊急内視鏡で胃潰瘍性出血が止血されたが、誤嚥性肺炎や肺水腫が続発した。挿管不希望で手術加療は不可能であり、姑息的にネキシブリッド®を使用した死亡の転機を辿った。ネキシブリッド®の使用経験について報告するとともに、入院管理が困難な症例・挿管不希望症例の熱傷加療についてご意見を賜りたい。

7. 糖尿病性足潰瘍に対して EPIFIX を使用した 1 例

済生会松山病院 形成外科

○三宅 啓介、船木 杏奈

(5 分)

糖尿病性足潰瘍に対して EPIFIX(ヒト羊膜使用組織治癒促進用材料)を使用した 1 例を報告する。症例は 70 歳男性。糖尿病性神経障害、シャルコー関節を背景とした右足外側潰瘍がある。第 5 中足骨骨髓炎として腐骨除去を行い、その後潰瘍に対して 2 度 EPIFIX を貼付した。

8. 黒色壊死を付する潰瘍が多発したクリオフィブリノゲン血症の一例

市立宇和島病院 形成外科<sup>1)</sup>、市立宇和島病院 皮膚科<sup>2)</sup>、愛媛大学医学部附属病院 形成外科<sup>3)</sup>

○浅野 遥奈<sup>1)</sup>、岩田 麻里<sup>2)</sup>、眞田 紗代子<sup>1)</sup>、村上 達郎<sup>3)</sup>、薬師寺 直喜<sup>2)</sup>、森 秀樹<sup>3)</sup>

(3 分)

55 歳男性。1 年程前より両耳輪、下肢に黒色壊死組織を付する潰瘍が多発するため 20XX 年 1 月に当科を受診した。血液検査で凝固系因子の上昇と腎機能障害を認めたことから全身性の炎症性疾患を疑い精査を行ったが、診断には至らなかった。精査中にも病状の進行を認めたことから愛媛大学医学部附属病院皮膚科に紹介し、クリオフィブリノゲン血症と診断された。比較的稀な疾患のため報告する。

9. 臀部慢性膿皮症の切除後、rubber band tie-over 法を用い植皮術を行った症例

松山赤十字病院 形成外科

○井上 拓人、庄野 佳孝

(5 分)

一般的な tie-over 固定は、絹糸などの縫合系を用いた方法が行われているが、血腫や汚染が生じた場合、対応のために開封した後の再固定が困難であるなどの欠点がある。今回、臀部の慢性膿皮症に対して切除後に植皮術を行う際に、縫合系の代わりに輪ゴムとクリップを使用して tie-over 固定を行った 2 症例を経験したので報告する。

10. 乳腺型筋線維芽細胞腫の 1 例

愛媛県立中央病院 形成外科

○石野 憲太郎、中川 浩志、岡田 将誉

(5 分)

症例は 44 歳男性。5~6 年前に左鼠径部あたりの 5~6 cm 程度の軟らかい腫瘤に気付き、1 年前の健康診断時には外観上 10 cm 程度となり、その際は鼠径ヘルニア疑いと言われたが無症状のため消化器外科などは受診しなかった。腎嚢胞での精査をきっかけに造影 CT、エコー上でも左鼠径部の病変はヘルニアでなく軟部腫瘤と診断され、当科で腫瘍切除施行した結果、病理検査で乳腺型筋線維芽細胞腫と診断された症例を経験したので報告する。

休憩 (18:15~18:30)

総会 (18:30~18:45)

1. 次回研修会の日程

2. その他

特別講演(18:45~19:45)

座長:南松山病院 形成外科 中岡 啓喜 先生

「一般病院における慢性創傷の治療」

講師:熊本赤十字病院 形成外科部長

黒川 正人 先生

慢性創傷の治療における、NPWT を含めた、デブリードマンから wound bed preparation、さらに外科的治療までの流れやトピックスを紹介する。

## 略 歴

## 【現職】

令和 6 年 熊本赤十字病院 形成外科 部長

## 所属学会

日本形成外科学会 指導専門医

日本熱傷学会 専門医, 評議員

日本頭蓋顎顔面外科学会 専門医, 評議員

日本褥瘡学会 認定医師, 評議員

日本皮膚悪性腫瘍学会 評議員

日本マイクロサージャリー学会 評議員

日本手の外科学会 専門医, 代議員

日本美容外科学会

日本創傷外科学会 専門医, 評議員

日本下肢救済足病学会 評議員

日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 評議員

日本口蓋裂学会

日本医師会認定産業医

## 【職歴】

1984 年 大阪医科大学 卒業

京都大学医学部形成外科入局

1985 年～1987 年 小倉記念病院 形成外科

1987 年～1988 年 倉敷中央病院 形成外科

1988 年～1992 年 浜松労災病院 形成外科, 医長

1992 年～1993 年 京都大学医学部形成外科教室, 助手, 病棟医長, 外来医長

1992 年 Taiwan, Chang Gung Memorial Hospital 留学

1994 年～2008 年 長浜赤十字病院 形成外科, 部長

1998 年～2015 年 滋賀医科大学医学部, 非常勤講師兼任

2002 年～2014 年 大阪市立大学医学部, 非常勤講師兼任

2008 年～2014 年 宝塚市立病院 形成外科, 部長

2014 年～ 熊本赤十字病院 形成外科, 部長